

# 東海経済レポート(2022年1月)

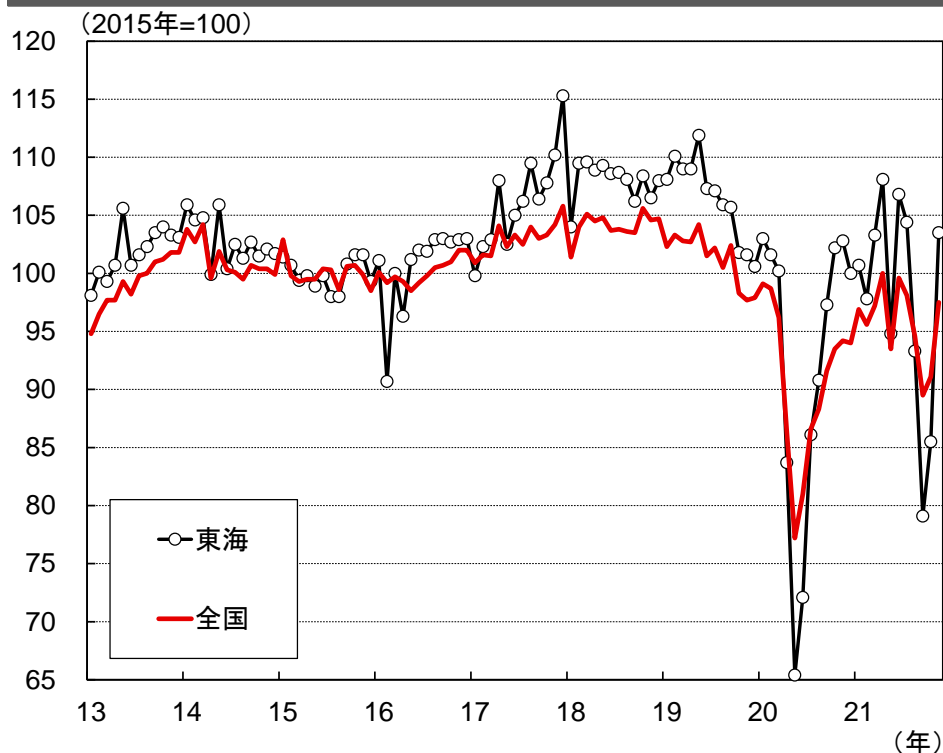
2022年1月25日

三菱UFJ銀行 経営企画部 経済調査室(名古屋)

# 概況・生産

- 東海経済は持ち直しているが、足元では感染第6波により東海3県でもまん延防止等重点措置が発令されるなど、先行きの不確実性がやや高まっている。
- 製造業は、半導体不足の解消には暫く時間を要するとみられるが、東南アジアからの部品供給制約は緩和してきており主力の輸送機械を中心に生産・輸出は回復基調にある。また、飲食・運輸・宿泊などのサービス業についても、各種行動制限が解除されたことで昨年末にかけて緩やかな回復の動きがみられた。
- 昨年11月の鉱工業生産指数は前月比+21.1%と2ヵ月連続で上昇、水準は103.5とコロナ禍直前の2020年2月(101.6)を上回った。業種別にみると、電子部品・デバイスが同▲6.2%と低下した一方、輸送機械が同+42.3%、電気機械が同+5.3%、生産用機械が同+3.3%とそれぞれ上昇。

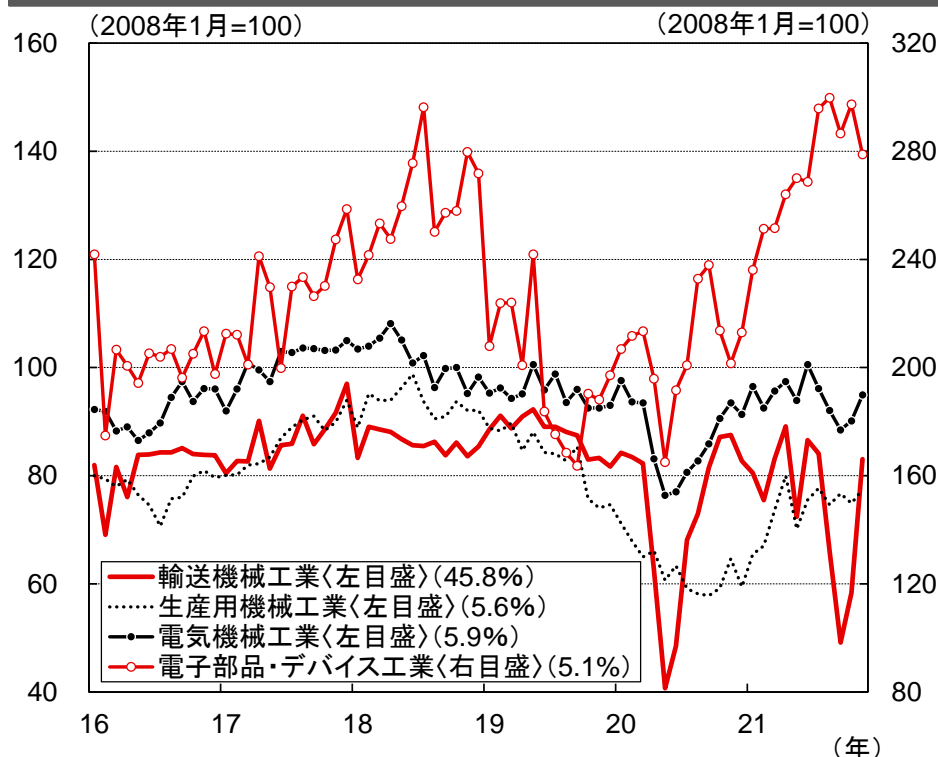
鉱工業生産指数



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。

(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

業種別の鉱工業生産指数(東海)



(注)1.『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。

2. ( )内の数値は、業種毎の付加価値額の比率(平成27年基準。中部経済産業局算出)

(資料)中部経済産業局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

# 景況感・輸出

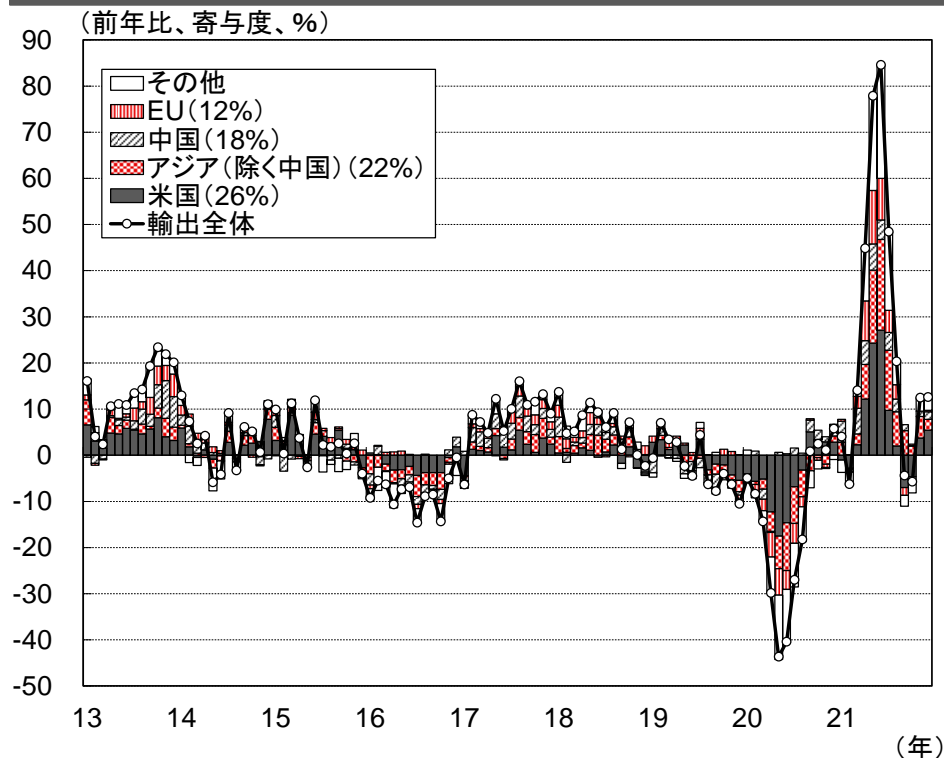
- 昨年12月の景気ウォッチャー調査の現状判断DIは59.1(前月比+0.8ポイント)と4カ月連続で改善。自動車生産の持ち直しや緊急事態宣言解除後の人出・対面サービス消費の回復などが影響。
- 12月の輸出額(円ベース)は前年比+12.6%と2カ月連続で増加、金額は1.8兆円とコロナ禍前同月(1.5兆円)を上回った。地域別では、米国向け(同+22.2%)、アジア(除く中国)向け(同+10.5%)、中国向け(同+9.0%)、EU向け(同+2.4%)といずれも増加、品目別でも、工作機械(同+31.9%)、自動車(同+24.3%)、一般機械(同+15.0%)、電気機器(同+12.5%)といずれも増加。

景気ウォッチャー調査(現状判断DI)



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡の4県。  
(資料)内閣府資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

輸出額(東海)

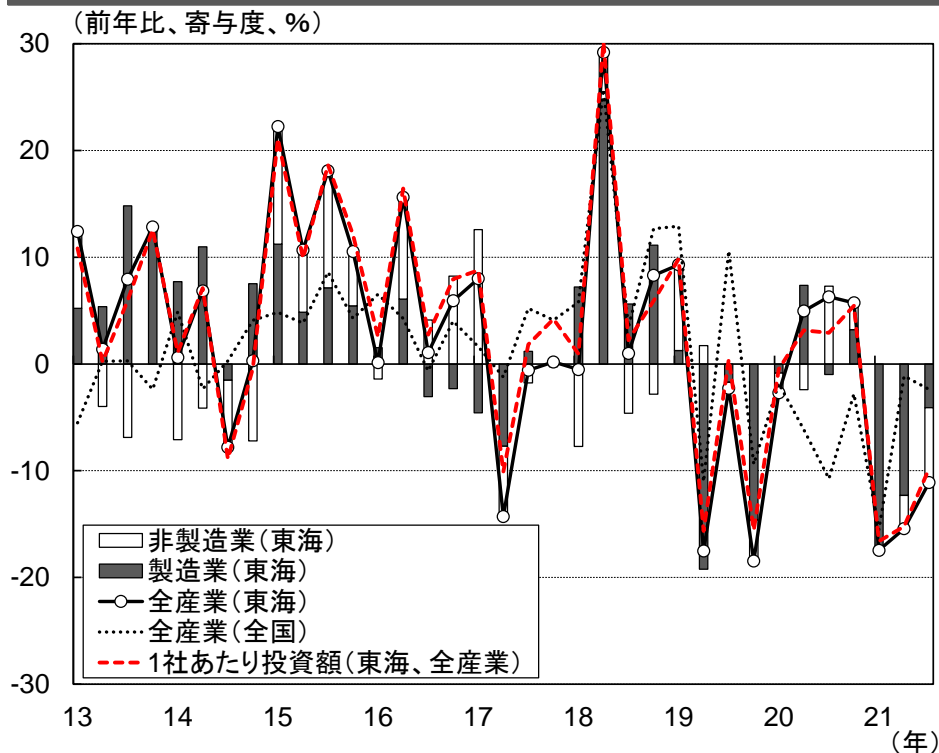


(注)1.『東海』は名古屋税関管内(愛知、岐阜、三重、静岡、長野)。  
2. ( )内の数値は2020年輸出総額に占めるシェア。  
3. EUの増減率は加盟国の増減を踏まえて算出。  
(資料)名古屋税関統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

# 設備投資・機械受注

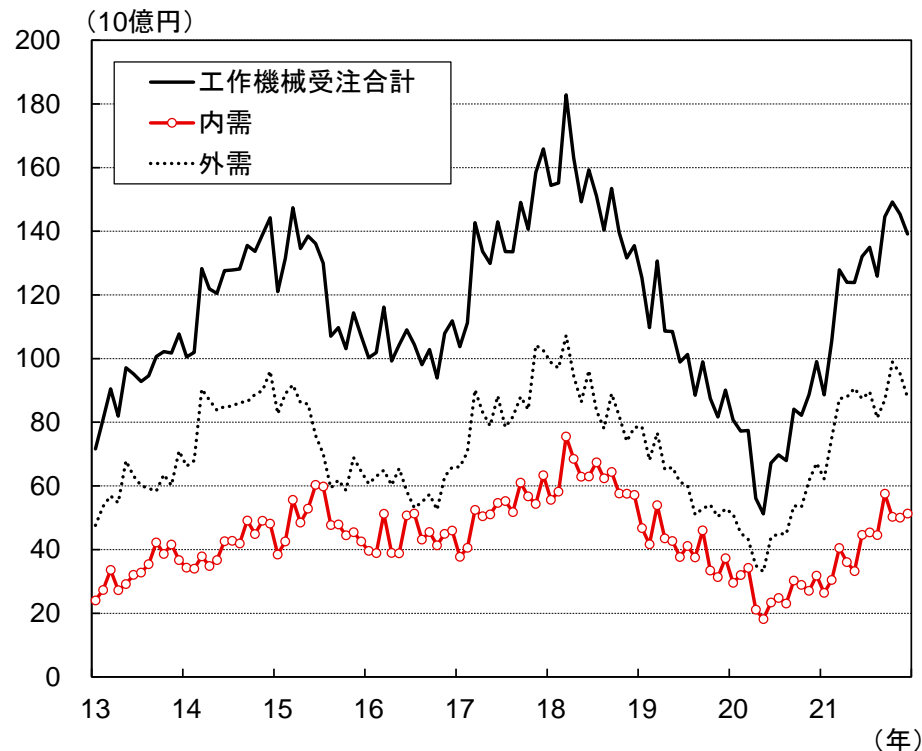
- 昨年7-9月期の大企業の設備投資は前年比▲11.1%と3四半期連続で減少。製造業は減少幅が縮小した一方、非製造業は減少幅が拡大。
- 12月の全国の工作機械受注額は前年比+40.5%の1,391億円と14ヵ月連続で増加。このうち、外需は同+30.6%と14ヵ月連続で増加、内需は同+61.2%と10ヵ月連続で増加。

大企業の設備投資



(注) 1. 『東海』は愛知、岐阜、静岡、三重の4県。  
 2. 資本金10億円以上の企業を対象。  
 3. 設備投資額はソフトウェアへの投資を除いた金額。  
 4. 1社あたり投資額は設備投資額合計を回答法人数で除して算出  
 (資料) 東海財務局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

工作機械受注額(全国)

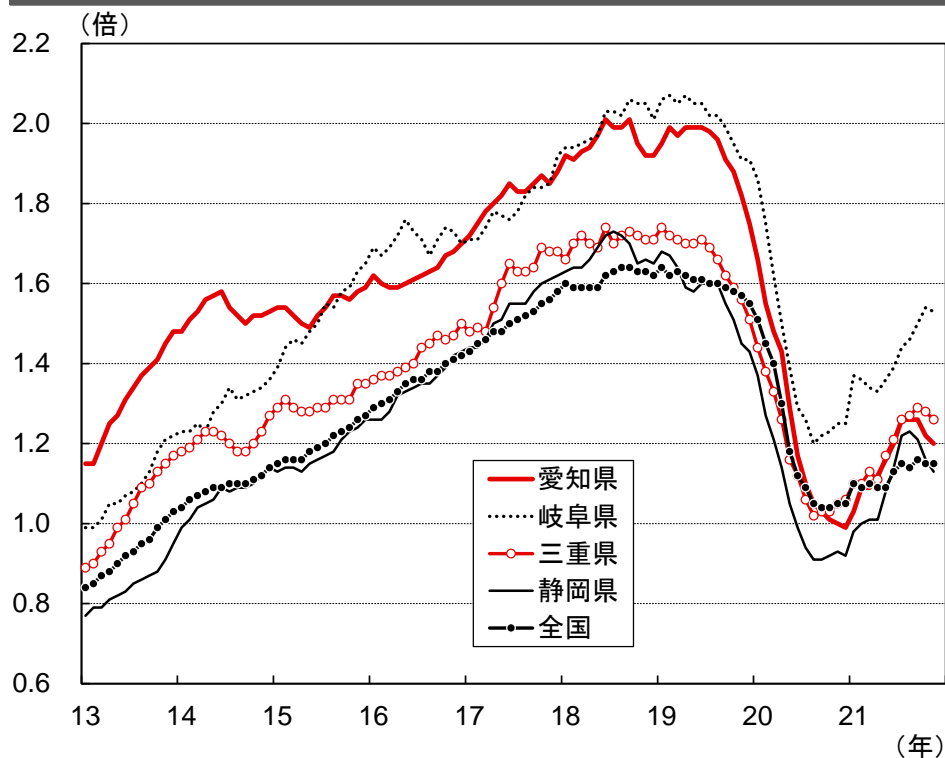


(資料) 日本工作機械工業会統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

# 雇用・所得

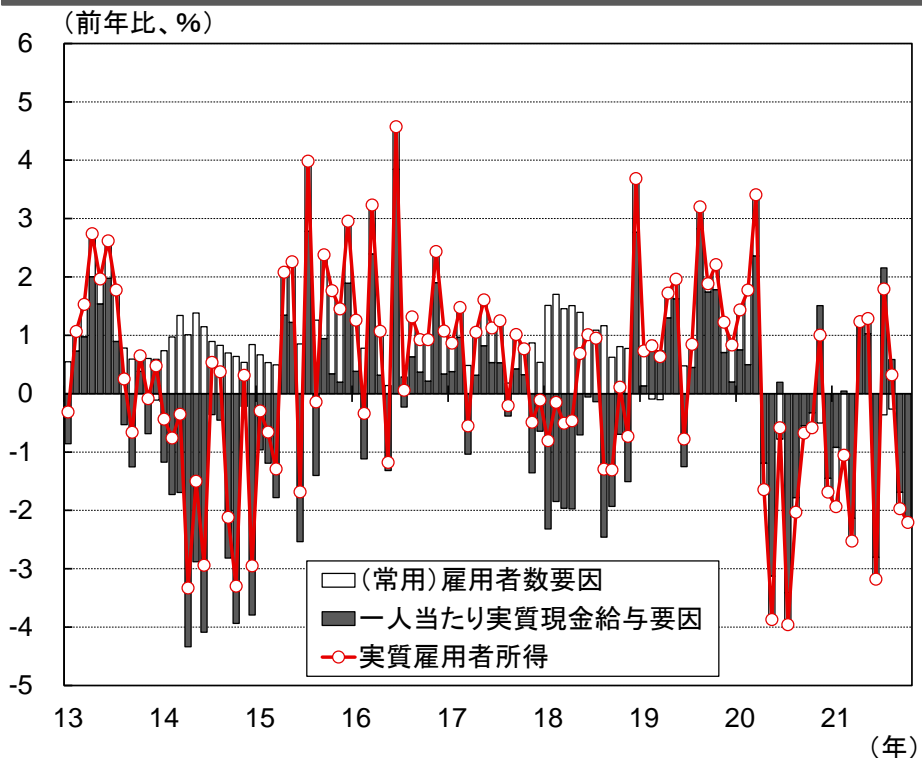
- 昨年11月の有効求人倍率は東海4県でいずれも低下。静岡県は全国を下回った。
- 10月の実質雇用者所得(3県合算)は前年比▲2.2%と2ヵ月連続で減少。一人当たり所得の減少が全体を押し下げ。

有効求人倍率



(資料)厚生労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

実質雇用者所得(東海)

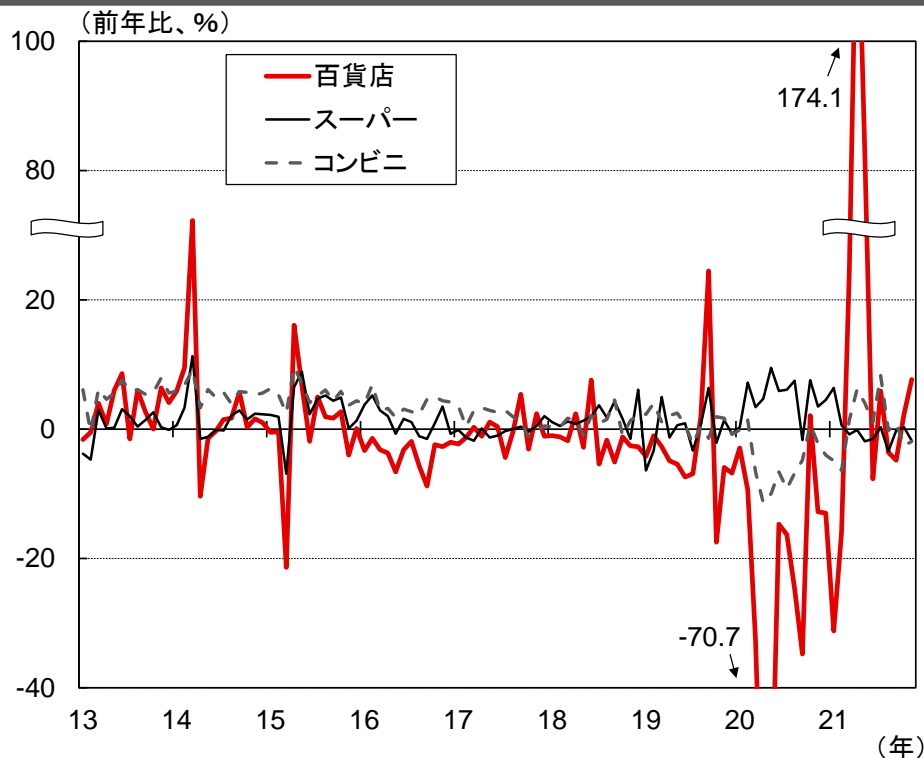


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。  
(資料)各県勤労統計、内閣府資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

# 個人消費・住宅投資

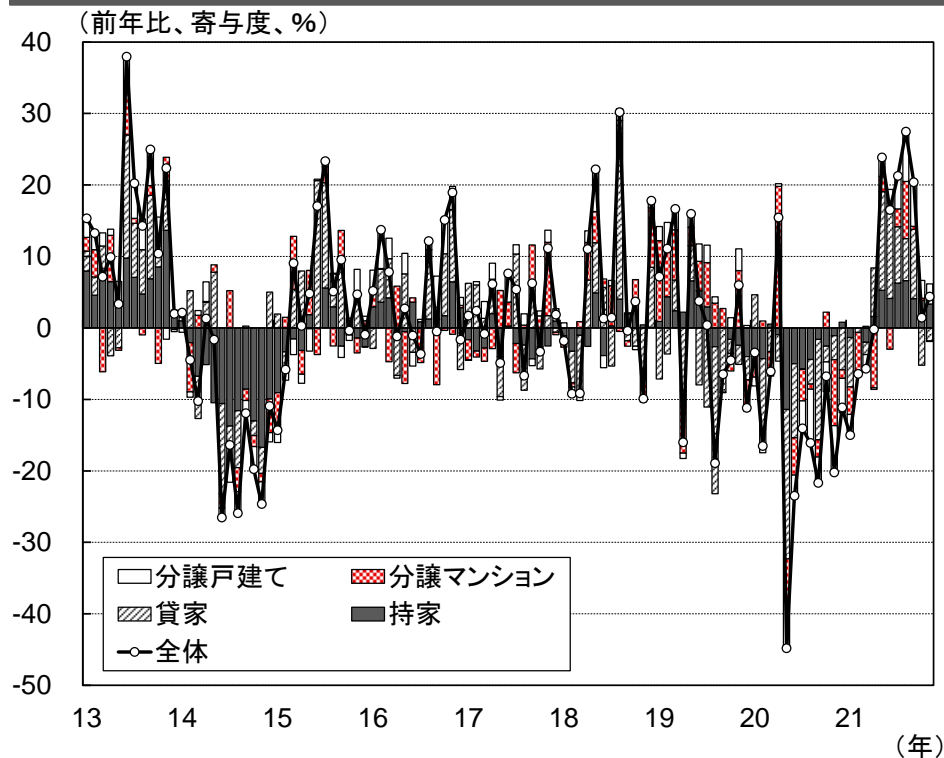
- 昨年11月の小売主要3業態の販売額は、百貨店は前年比+7.7%と増加したものの、コンビニは同▲1.9%、スーパーは同▲1.8%と僅かに減少。金額ではスーパーが1,468億円とコロナ禍前同月(1,380億円)を上回った一方、百貨店は423億円、コンビニは969億円と、それぞれコロナ禍前同月の9割程度。
- 11月の新設住宅着工戸数は年率8.2万戸、前年比+4.3%と7ヵ月連続で増加。用途別では、貸家(同▲5.1%)、分譲マンション(同▲0.8%)が減少した一方、分譲戸建て(同+16.7%)、持家(同+8.5%)が増加。水準はコロナ禍前同月の8割程度。

小売主要3業態の販売額(中部)



(注)『中部』は愛知、岐阜、三重、富山、石川の5県。  
(資料)中部経済産業局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

新設住宅着工戸数(東海)

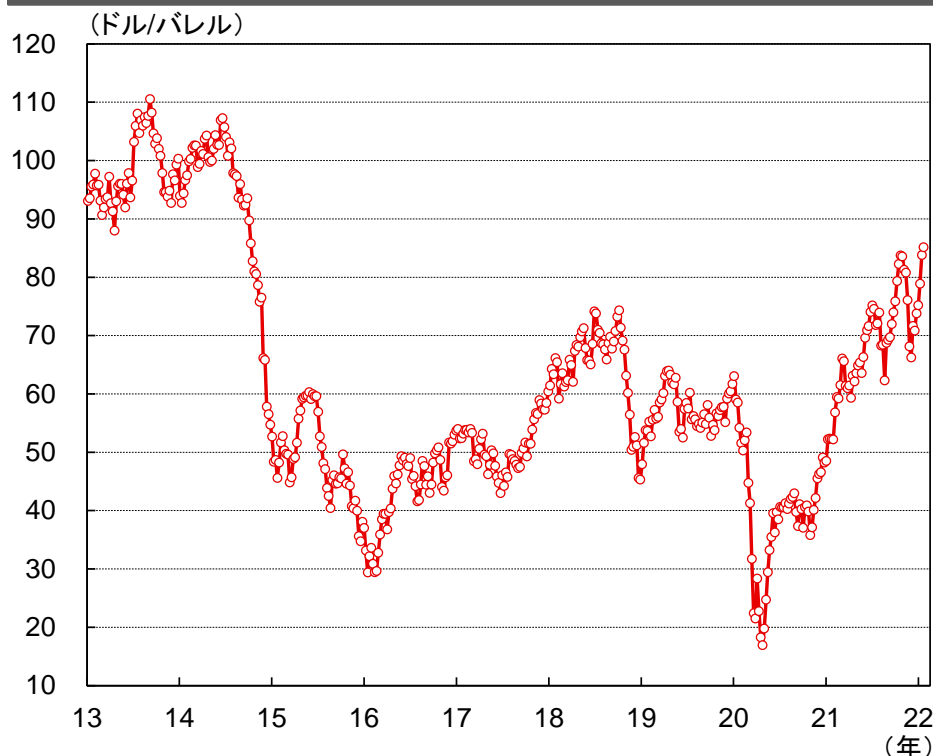


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。  
(資料)国土交通省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

# 原油価格・円相場・株価

- 原油価格は足元1バレル80ドル台で推移。世界経済の回復に伴う原油需要の持ち直しや寒波による需給引き締まりに加え、ウクライナ情勢を巡る懸念などが背景に。
- ドル円相場は1ドル114円前後で推移。米国の金融政策正常化が進展することで、日米金利差の拡大によるドル買い・円売りが意識され易い地合いが続いている。
- 日経平均株価は、世界的に金融緩和縮小の動きが強まっていることへの警戒や国内での感染拡大の影響から、足元27,000円台まで下落。

### 原油価格



(注)『原油価格』はWTI先物。  
(資料) Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

### ドル円相場・日経平均株価



(資料) Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

---

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。



会社名：株式会社三菱UFJ銀行 経済調査室  
〒460-8660 愛知県名古屋市中区錦3-21-24

照会先：中村 拓郎      e-mail：takurou\_nakamura@mufg.jp